

平成30年度 大学院生によるEU研究成果の 学会報告に対する交通費支援制度について

1. 目的

我が国におけるEU研究を強化するとともに、次世代のEU研究者を育成するため、EUからの資金援助を受けたJean Monnet Chair（ジャンモネチェア）プログラム（2015～2018年）により、EUIJ関西コンソーシアム三大学（神戸大学・関西学院大学・大阪大学）の大学院生による研究成果の国内での学会等での報告に対して交通費を支援する。

2. 募集対象者

平成30年度8月末までに「国内発表」を行う者で、次の全ての条件を満たす者。

- ・EUIJ関西コンソーシアム三大学の博士課程前期課程、後期課程、ポスドクの学生であること。
- ・EUに関する研究成果発表を、当該学生本人が行うこと。
- ・発表論文は、原則として第1著者名（First Author）であること。

（※「原則として」に関して、第1著者でなくても当該学生本人が研究成果を発表する場合は該当する。同行のみの場合は該当しない。）

- ・申請時に、発表論文概要（Abstract）があること。
- ・支給は、一人同一年度で1回を限度とする。
- ・EU研究修了証プログラム修了者、あるいは同プログラムに現在登録している者、または過去に登録したことがある者を優先する。

3. 交通費支給金額

神戸大学の旅費取扱規程に基づいて計算した額とし、上限は下記のとおりとする。

- ・1人 50,000円

4. 募集人数

原則として、前期（発表時期：4月～8月）3名とする。

5. 応募締切

原則として、2018年3月16日（金）。

（学会の開催時期に応じて、締切時期を配慮します。）

6. 提出書類

（1）申請時提出書類

- ・申請書（添付の様式）
- ・学会等開催予定表（ホームページの写し・プログラム等）
- ・論文が採択されたことが分かる書類（メールの写し等）

（注意1）報告する内容については、事前に指導教員の上承を得ること。

（注意2）申請書提出後、やむを得ない理由により旅行日程を変更せざるを得ない場合は、必ず神戸大学プログラムコーディネイト事務室に連絡すること。

（必要な手続は、その際指示を予定している）。

（注意3）支払いは、報告書を提出後、後払いとなる。

(2) 学会終了後提出書類

学会終了後、14日以内に下記書類を提出すること。

- ・ 報告書（添付の様式）
- ・ 学会のプログラム、発表した日時が表示されたページ部分、発表した論文・資料等
- ・ 利用した鉄道乗車券、飛行機搭乗券半券

※提出書類については、変更される場合があります。

7. 提出先

神戸大学プログラムコーディネート事務室 E-mail: intl-prg@office.kobe-u.ac.jp

提出はメール添付（PDF）とし、件名に「**院生学会報告支援**」を入れること。

8. 審査

提出された申請について翌月の EUIJ 関西運営部会で審査し、結果は申請者及び指導教員に通知する。

9. その他

他の奨学金等とは重複して受給できない。（他の奨学金を申請する場合、及び他の奨学金の受給が決定した場合には、直ちに神戸大学プログラムコーディネート事務室に連絡すること。）

※ここでいう「他の奨学金」とは、同一の目的（学会発表の交通費）のための奨学金のことであり、学費支援・生活支援目的の奨学金（日本学生支援機構による奨学金等）は含まない。

平成 29 年 10 月

ジャンモネチェア 神戸大学経済学研究科 吉井 昌彦

問合せ先：神戸大学プログラムコーディネート事務室

E-mail: intl-prg@office.kobe-u.ac.jp

平成 30 年度 大学院生による E U 研究成果の学会報告に対する交通費支援制度申請書

EUIJ 関西 代表殿

申請者本人 氏名 (自署) : 印
所属:
携帯電話番号:
E-mail:

指導教員 氏名 (自署) : 印
E-mail:

学会報告に対する交通費支援を下記のとおり申請する。

開催場所	
学会名	
論題及び概要	
期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
日程	
備考	EU 研究修了証プログラム登録状況 有 ・ 無

平成 30 年度 大学院生による E U 研究成果の学会報告に対する交通費支援制度報告書

EUIJ 関西 代表殿

申請者本人 氏名 (自署) : 印

指導教員 氏名 (自署) : 印

交通費支援を受けた学会報告について、下記のとおり報告する。

開催場所	
学会名	
論 題	
期 間	平成 年 月 日～平成 年 月 日
報 告	

※ 航空機使用の場合は、「(内訳が記載された)領収書」および「搭乗券(半券)」も提出すること。